

前橋の歴史文化に触れて 巡るシルク歴史遺産

ワカモノ記者
SNSも見てください!



Instagram フェイスブック

市民が作る
市民編集
のページ
Vol.138

上毛かるたでおなじみの県都前橋生糸のまちを支えた、藩営前橋製糸所の創業から今年で150年。今回は、市民学芸員案内の

担当▶ 尾池 優香、玉川 ひろみ 関 文化国際課 ☎027-898-6992

今回参加したシルク歴史観光ガイド：花燃ゆコース



下村善太郎像

● 近代前橋を代表する2人

前橋の歴史を語る上で欠かせない重要人物を2人紹介します。1人目は、楢取素彦です。楢取素彦は初代群馬県令として製糸業の発展や教育の振興に尽力した人です。難治の県と呼ばれていた群馬県。楢取は群馬県を日本を代表する蚕糸業県、教育県に育て上げました。2人目は、下村善太郎です。初代前橋市長の下村善太郎は、熨斗糸買から反物、生繭へと商売を広げ、大富豪に。同じく製糸業で潤った人々とともに、そのお金を道路の開墾修理や桃井小新築、県庁誘致運動などに使い前橋の発展に

貢献しました。

● 県政を学べる昭和庁舎

現在の県庁が建つ前に使われていた昭和庁舎。入ると目の前には映画などの撮影でも使用されることのある立派な階段が。2階には歴代の県知事と出来事が年表で展示され、群馬県の歴史の中で前橋の姿を知ることができます。

また、当時使われていた大きな金庫の横では学生が自主学習をしている姿も。過去のものがありながら現在でも使用されている空間になっていました。

● 身近な公園に歴史の跡

楽歩道前橋公園には楢取素彦の功德碑と、楢取素彦と松陰の短刀の像が建てられています。碑には県令としての理念や群馬の県民性、教育について書かれています。また、銅像は大河ドラマ「花燃ゆ」でも登場したシーンが再現されています。

● 地域の歴史や文化知っていますか

ガイドの参加者にインタビューをすると、ずっと前橋に住んでいるけれど、今回で前橋のことをより知ることができたという意見も。自分も、自分と関わりのある地域の歴史や文化について知っておきたいと思いました。

● 臨江閣

楢取素彦の提言により建てられた臨江閣の本館。下村善太郎をはじめとした有志などの寄付により建てられました。利根川や浅間、妙義などの山々を望む見晴らしの良い立地が特徴です。別館では、萩原朔太郎も結婚式をあげたと伝えられ、昔から愛された建物であったことが伺えます。

- ① 昭和庁舎2階の年表では群馬県の歴史を学ぶことができます
- ② 昭和庁舎の階段
- ③ ガイドの市民学芸員・長井さん
- ④ 「意外と前橋のことを知らないと感じた」と語ってくれた参加者
- ⑤⑥ 臨江閣別館。柱や手すり是一本の木で作られたところが多くあり、くぎを使わずに組み立てられています。天井も現代より低い!
- ⑦ 詩人・萩原朔太郎の結婚式にも使われたと言われている臨江閣別館の大広間
- ⑧ 楢取素彦の功德碑

編集後記

ガイドでは前橋城跡も訪問。前橋城はとて
も広く、今も城の跡が残る場所がいくつもあ
るという話が印象的でした。 **玉川**

普段、私たちは当たり前のように教育を受け
ていますが、楢取素彦や下村善太郎が尽力し
たからこそ今があると学びました。 **尾池**